

緑は生命 しあわせ ふれあい

発行 2017年3月
宝塚園芸福祉協会
宝塚市中山寺3丁目1-14
TEL & FAX 0797-86-0619



いきいき はつらつ 宝塚園芸福祉協会に戻りました

ご挨拶

会長 金岡 重子

平成28年度総会にて特定非営利活動法人解散を決議し手続きに5カ月を要しましたが、所管庁への報告も8月に終了、平成16年設立当初の宝塚園芸福祉協会に戻りました。社会貢献度を高めるために法人格を取得し様々な活動を展開してまいりましたが、高齢化のピンチをチャンスに変えるべく任意団体に縮小しながら生きがいになる事業の継続を図りたいと存じます。これまで同様にご支援ご厚情を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



役員構成

会長	金岡重子	事務局	立川文代	会計	濱口栄子
ゆうゆうガーデン担当			宮崎周吉		
わくわくファーム担当			田路 学		
若者サポート支援担当			齊藤信雄		



ゆうゆうガーデン

宮崎 周吉

開設して11年が経ち、私は農園長4代目になります。ゆうゆうガーデンは団体共同畝と個人畝エリアがあり、毎週水曜日午後が共同畝作業日です。登録メンバーは31人で、出席率がよく25人程度が作業に集まります。ゆうゆうガーデンの個人畝では自分の作りたい野菜を作り、作り方も仲間に教えてもらえるし野菜作りを通して会話が弾みます。団体共同作業時は役割分担をして、農園芸をとおしてみんなが健康的で楽しく作業をできるように心がけています。毎月世話人会を開き、予定と作業記録もメンバーに配布、栽培計画と野菜別担当者、各種当番を決めて作業がしやすいように工夫し協力し合っています。天候と野菜の成長を見ながら手入れと収穫を楽しみます。収穫物を家に持ち帰れば家族にも喜ばれることでしょう。お土産があれば作業服の汚れや肥料のにおいなども理解してもらえるかもしれません。



29年1月11日畑開き

高齢化しつつありますが、病気になっても「畑の作物が気になる。みんなに会いたい」と復帰し、園芸作業で体を動かし健康を回復する人もすくなくありません。ゆうゆうガーデンでは季節に応じてイベントを行います。新年は畑開き、夏は暑気払い、秋は収穫祭です。これからも経験を重ねて栽培技術を高め、新しい野菜などにも挑戦していきたいと思えます。

わくわくファームでの野菜・花作りの「希み」と「思い」

田路 学

都市型収穫体験農園としてわくわくファームも今年で早や5年目に入ります。活動を支えて頂いている地主さん、地域の皆様に感謝しながら一粒一粒種を蒔き大地の恵みを地産地消で収穫を楽しみ遊べる農園は、土に触れミミズや虫を見つけて泣き出す幼子、手で掴んでワイワイガヤガヤ走り回る子たちで賑わいます。

一粒の種が新鮮野菜に成長するには、太陽の光をいっぱい浴びて大地に「根」を張る事が大事です。それは人間も然りで「心の根」をしっかりと養っていくことが大事だと思います。特に世の宝である子ども達が、心の中に色々の種を蒔き、愛情を一杯に受けて豊かな心を持った人に育ち「心の根」をよく養生し、いつかどこかの社会で「花」咲かせ、実を結ぶように！

ファームでの野菜・花作りという小さな活動を通しての「大きな希み」です。それは同時に我々60代～70代のファームの仲間が老いゆく身体に汗しながら、大地を耕すのは今日までの人生を経て、残る「人生という畑」に良い種を蒔き、周りに立派な野菜や花を育てる事で、少しでも世の中に「お返しをしたい」という「思い」に他ならない。その野菜の名前は「お役に立ちたい菜」であり、「ありがとう根」という「花」なのでしょう。そうした「希みや思い」の種を、これからも四季折々に蒔き～育てながら、私たちも一緒に残る人生の畑をより深く耕して生きたいものです。

<先人曰く>

1年先を思いは 花・野菜を育て

10年先を思いは木を育て

100年先を思いは人を育てる



地域の大型保育園さんからコメントを頂きました

社会福祉法人サン福祉会 わかばのもり保育園

園長 山田 慎治

～芋ほりに行かせていただいて～

こども達が育つ上で、自然体験は絶対に欠かせない経験の一つです。わくわくファームに毎年芋ほりに行かせて頂き、貴重な体験の場を頂いているので、大変感謝いたしております。何より貴団体の皆様が、子ども達を本当に温かく迎えて頂き、一緒になって子ども達と触れ合っ頂けることが何より嬉しいと感じています。現代に欠けている人間関係まで教えて頂いています。これが地域の活性化になると思っています。この場が永遠に続く事を望んでおります。どうか皆様、お身体にお気をつけ頂きこれからも子ども達の為にご尽力頂ける様お願い申し上げます。



社会福祉法人愛和会 なかよし保育園 副主任 家郷 恵美子

～おいもほり楽しかったね～

今年も昨年に引き続き、わくわくファームでおいもほりをしました。

「どんなおいもがとれるかなあ」「お母さんに大きいの取ってきてっていわれた」とやる気満々の子ども達。

畑に着くと待ちきれない様子で軍手をはめて、準備万端です。おいものつるを一生懸命引っ張りました。

「よいしょ～」と引っ張ると、つるの先にはおいもがいっぱい！しりもちをつきながら大喜びでした。

取れたおいもは、お家に持って帰ったり保育園で焼きいもにしたりしてみんなで食べました。

甘くておいしいおいもを食べて、心も体もほっかほっかになりました♪

宝塚 COCORO 保育園

園長 松石 幸子

～楽しいおいもほり～

気持ちのいい秋空のもと、保育園の4歳児と5歳児が10/28と10/20においもほりに出かけました。子どもたちはスコップを持って、張り切っています。わくわくファームさんでは、たくさんの職員の方々からやさしく子どもたちに声を掛けていただいたり、なかなか掘れない子どもには手伝っていただいたり、本当にありがとうございました。おいもがたくさんとれてみんな大喜びでした。自然に触れるいい機会だと思います。又、輪投げなど楽しい遊具もあって、おいもほりの後も楽しく遊ぶことができました。毎年、わくわくファームさんに出かけたいと思っています。これからもよろしく願いいたします。





28年度は小学6年生2名 5年生2名
3年生3名 2年生1名の8名が3月25日金岡
塾長より第8期修了証を授与されます。夏休み
は6:15集合、新池公園でラジオ体操を実施。

ぼくとすくすく塾

小学3年生 時田 悠史

ぼくは1年生の時から、すくすく塾に通っています。1度も休みたいと思ったことはありません。夏は暑いし、朝がとても早いのですが、きゅうりやトマトをしゅうかくしたあと、畑から採ったシソの葉で作ったシソジュースを飲むのはとてもおいしいです。冬は寒いし、畑をたがやしてうねを作るのは大変ですが、大きな大根を持って帰るとお母さんがよろこびます。また、もちつきをしたり、クリスマスケーキを食べたり、楽しい行事もあります。農業をして道具の使い方や、うねの作り方を知りました。野菜にはひりょうをあげたり間引きをしたり、きちんとお世話をするといいものができることがわかりました。

落花生が土の中にできて、採れたてをゆでて食べるとすごくおいしいことも知りました。じねんじょは、土の奥深くまでのびるとしゅうかくしにくくなるので、土の中にトイやビニールシートをしいて、その上にじねんじょを植えてしゅうかくしやすくする工夫も習いました。じねんじょのつるにできるムカゴで作る「ムカゴごはん」はお父さんの大好物です。畑でしゅうかくできるものは野菜だけでなく、家族やみんなの笑顔も収穫できる楽しい場所です。



大根の葉っぱも食べるよ



朝取り夏野菜がおみやげだ



じねんじょ折れずに取れた！

ツカベジ農園を担当して

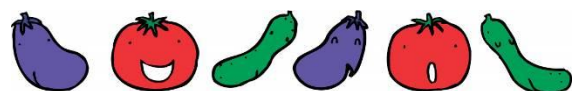
斉藤 信雄

宝塚 NPO センターのはたらく応援センターでは、様々な理由で働きづらい人たちの就労支援を行っています。その支援の一つとして、野菜作りの農業指導を依頼され、毎週木曜日にわくわくファームの一角のツカベジ農園で畝作りから収穫までを体験します。初めての農作業でクワ、スコップなどを使い、慣れない作業で大変ですが、土に触れ作物の成長を楽しんでいます。

休憩時茶菓でのコミュニケーションは話も弾み時間オーバー、そのまま作業終了となる事も。

また苦労した末の収穫は大きな励みとなり、同時にやり遂げた喜びで自信も付くでしょう。

就職して巣立って行く彼らを見ると嬉しさと共に一抹の寂しさを感じます。農作業の体験が豊かな経験になれば良いなあと5人のスタッフは若者たちに関わっています。



ジャガイモ収穫

2016/06/23

2016収穫祭 IN 園芸福祉協会交流会：11月5日（土）

テーマ：子ども心で遊ぼう笑おう

11月にしては暖かい秋晴れに恵まれて、会員相互の親睦を深める交流会が開かれました。まずはラジオ体操で体ほぐし、くじ引きでチーム分けをしてスタンプラリーで対抗戦。畑には①ボール投げ ②輪投げ ③パン食い競争 ④坊主めくり ⑤記憶ゲーム の準備も整って担当役員がルールを説明しました。すすく塾の塾生や保護者の皆さんもゆうゆうガーデンやわくわくファームで畑作業をしている会員と共にゲームに興じ笑顔と歓声で賑やかな交流会でした。チーム毎に各ゲームの得点者を発表、金岡会長より春の花苗の贈呈があり大いに盛り上がりました。



交流会ではすすく塾生のお父さんに乾杯の音頭を取って頂きました。6年生の息子さんはぐんと背丈も伸びて来年は中学生、それぞれの家族の絆を感じる機会でした。落花生、黒豆、差し入れの柿など秋の恵みを美味しく戴きました。

平成 29 年総会=活動報告会のお知らせ

日 時	平成29年4月23日（日）	13：30～16：30
場 所	宝塚市共同利用施設中山寺会館（阪急中山観音下車徒歩2分 中山寺山門前）	
内 容	報告と計画	28年度活動収支報告 13：30～14：30
		29年度活動計画予算案

交流会 14：40～16：30

***任意団体に戻りまして、総会=活動報告会とさせていただきます。各事業ごとに報告し意見交換も行いたいと思います。参加不参加のはがきでのお返事は省略させていただきます。ご出席下さった方々で開会致しますのでご了解ください。会員間の交流を楽しみにご参集下さいますようお願い致します。

フォーグリーンだより 12号をお届け致します。

土地のオーナーさんに感謝!感謝!の気持ちを持って、みんなで緑の畑に変え12年目、こんなに長く続くとはい... 倅せな居場所に成長を続けています。経済福祉から園芸福祉へ、いつまでも自分の手足を使って動き続けられますように!努力を惜しまず、人の出会いやご縁を大切に仲間づくりを進めていきたいですね。

編集：宝塚園芸福祉協会事務局 立川

665-0861 宝塚市中山寺 3-1-14 電話 & FAX 0797-86-0619

Eメール：fumiyotate@ybb.ne.jp